

もし、あなたの家で火災が起きたら… 逃げ切れますか!?

大切なのは「自分ゴト」として考えること!

火災を予防する対策を考えていても、実際に火災が起きたとき、どう避難するかまで考えている人は少ないのではないのでしょうか。大事なのは予防と準備。日々、消火・消防活動に命を懸ける消防士さんの声から、そのヒントをお届けします。

火災現場に立つ消防士からのメッセージ

一人でも多くの命が 助かってほしい

これまでの住宅火災で特に印象的だったのは、勤務中の消防署に直接、火災を知らせる人が駆け込んできた時。外に出てみたら、近所で上がる煙が目飛び込んできました。その時は2階が燃え、家の周りに煙が充満して入り口が見つけにくい状態で、救助に入った時には、すでに家の人が亡くされていました。外観は煙が見えているだけでも、すでに屋内はかなり炎が燃え広がり、周囲が気づいたときには手遅れになることも。だから、命を守るために、自力で避難できる術を身に付けておくことがとても大切なんです。



▲採用試験に合格後、消防学校などで学び、晴れて消防士になってからも日々の訓練と勉強は欠かせない

「逃げ遅れ」が大きな原因

火災で犠牲になる原因は、逃げ遅れが70%近くも占めています。そして、死者が一番多く発生した時間帯は、熟睡している人が多い夜中の2時ごろ。火災にいかにか早く気づくか、初期消火が間に合わない場合、どう避難するかが生死の分かれ目になります。



▲市消防局・予防課 繪面暢利(えづらまさき)さん。兵庫県に住んでいた中学2年生の時、消防士から直接、阪神淡路大震災での救助活動や消防学校の話聞く機会があり、消防士を目指すきっかけに

火災発生時の行動をイメージしてみよう

やっぱり、火災が起きればパニックになるし、無理をして自分で消そうとしがちですが、避難することを優先してもらいたいです。そのためにも、普段から火災の予防だけでなく、火災時にどう避難するかを家族みんなで考えておくことが大切です。避難の行動パターンは、火災の発生時間、家族構成や家の間取り、ペットの有無によっても違ってきます。どの部屋のドアや窓から逃げるのかもシミュレーションしておくといいですね。

訓練の様子などを見られる
市消防局の公式Instagram

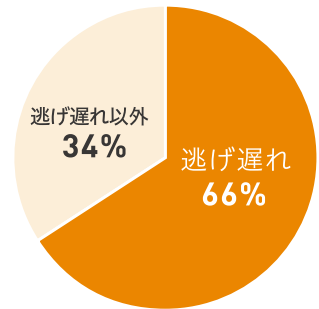


住宅火災のデータから見る

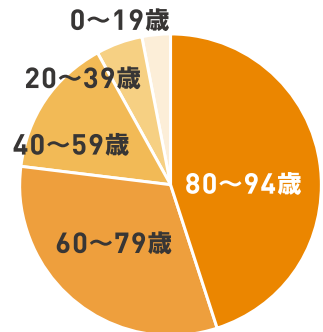
住宅火災の件数は年々減ってきているものの、死者数はほとんど減っていないため、死者数の割合は増加傾向にあります。また、住宅火災による死者の60%以上が火災からの逃げ遅れが原因で、住宅火災の犠牲になった人の割合を年齢別に見ると、約80%近くが60歳以上です。年齢を重ねると、火災から逃げることに時間がかかることや火災に気づくのが遅くなるのが原因と考えられます。

	平成21年	平成24年	平成27年	平成30年	令和3年
住宅火災件数	92件	88件	65件	57件	51件
住宅火災死者数	11人	7人	12人	5人	10人

※3年ごとの統計。共同住宅・併用住宅を含む



▲令和3年 住宅火災による死者の発生状況



▲令和3年 住宅火災による死者の年齢

あなたのその行動が 火災につながります

住宅火災の原因は、電気機器の配線、ストーブやコンロからの出火、仏壇などのロウソクの火、タバコの不始末や放火などさまざまです。いくら気を付けていても、うっかり火を消し忘れるだけでなく、放火や地震など意外な原因から火災が発生することもあります。



こんなことしていませんか？

ストーブの周りに
燃えやすいものを置く

コンロ使用時に
火のそばを離れる



▲令和3年 住宅火災の出火原因

電灯・電話等の配線2%

タバコを吸いながら
寝てしまう

コンセントのほこりを
掃除せず、不必要な
プラグを差したままにする



住宅火災から逃げ遅れないためには、 どうすればいいの？

逃げ遅れてしまう被災者の行動パターンから、対処方法を考えてみよう。

行動パターン ①

消火にこだわり 逃げ遅れた



初期消火に時間をかけ過ぎて、その間に火の手が回り避難経路を確保できない場合があります。天井に火が移れば初期消火は困難です。

状況判断が生死を分けます。初期消火に手間取るなら、避難を最優先にしてください。



キケン！

行動パターン ②

通報にこだわり 逃げ遅れた



「早く消防車に来てほしい！」と火災現場から何度も119番に電話をかけたつもりが、番号が違ってつながらず、避難が後回しになってしまったケースも。

慌てていると電話をかけ間違えたりすることも。先に安全な場所に避難してから119番に通報しましょう。



慌てない

行動パターン ③

睡眠時で 発見が遅れた



市内の住宅火災で犠牲になる人が一番多い時間帯は夜中の2時頃。熟睡していると火災に気づくのが難しく、逃げ遅れるケースが多いのです。

寝室には住宅用火災警報器を必ず付けましょう。これなら熟睡していても警報音で気づきやすくなります。



これなら安心

行動パターン ④

避難に時間がかかってしまった



体力的条件や家族の状況、ペットの有無により、避難の判断に時間がかかるだけでなく、避難中のけがなどで避難行動そのものに時間がかかる場合も。

普段から家庭事情に合わせた避難行動を考えておきましょう。右ページのパンフレット「住宅火災からの避難について考える」を活用してみてください。



想定する

あなたの家の住宅用火災警報器は大丈夫？



故障や電池切れの場合もあるため定期的に点検を。本体のスイッチを押すまたはひもを引っ張り、警報音が鳴ることを確認しましょう。

ろう 「岡山県聾学校寄宿舎火災」からの教訓

1950年12月20日午前2時頃、聴覚と視覚に障害のある生徒が共同生活をする市内の寄宿舎で火災が発生しました。就寝中だったため、火災発生を知らせる呼びかけや太鼓の音が届かなかった聴覚障害の生徒16人が犠牲に。

この悲しい火災事例は、各自の状況に応じて避難経路や、火災に気づく手段を事前に考えておくことがいかに大切かを教えてくれます。

自分ゴトとして具体的な避難行動を考えてみて。

次の3ステップを踏んで、各家庭に合う避難方法を見つけよう。

Step 1

自分の行動&心理パターンを知る。

パンフレット「住宅火災からの避難について考える」に記載された、行動や心理面から4つのタイプに分けるテストをやってみましょう。「行動」と「判断」のどちらに時間がかかるタイプなのかが分かります。あなたはどれに当てはまりますか？

マイタイムライン作りに役立つパンフレット「住宅火災からの避難について考える」を配布中！

市消防局と有識者とで、過去の火災データなどを参考に知恵を絞って作り上げたパンフレット。完成まで2年を要した力作です。市内の各消防署で配布しています。ぜひ、利用してみてください。

PDFでダウンロードができます▶



Step 2

火災発生時に行動するための、「マイタイムライン」を作ってみよう。

まず、火災発生時のシナリオを選び、スタート(火災にどうやって気づくのか)とゴール(どこから避難するのか)を決めます。ステップ1で診断したタイプをもとに行動を選び、順番に記入しましょう。



Step 3

いよいよ、自宅で避難訓練!!

実際にマイタイムラインのとおりに行動したら何分かかるでしょうか？自分の避難時間が目標の所要時間より経過してしまったら、行動を見返して、どうすればより早く動けるのかを考えて避難訓練に再チャレンジしましょう。家族それぞれのマイタイムラインも考えてみると、火災時の役割分担を決めやすいですよ。

グループや団体向けに、住宅火災について楽しく学べる出前講座を用意。

市消防局では、このパンフレットのほか、カードゲーム、VR(仮想現実)などを使って防火・消火・避難について学べるプログラムを用意しています。希望のプログラムと、所要時間(30分、60分、90分)が選べます。※10人～。会場は申込者で準備し、4週間前までに要申し込み。気軽にお問い合わせください。

出前講座のお申し込み

086-234-1199

(市消防局予防課)



▲オリジナルカードゲーム「火事だ！逃げろ！」。



▲立体映像のVRで、リアルな火災を体感！